

六殿宮秋季例大祭 みんなの力で大成功 受け前区 菰江区

さわやかな秋、10月9日に例大祭神事、14日に流鏝馬・馬追神事が奉納されました。菰江区は44世帯と小さな区です。区での話し合いを重ね、1年前から準備開始。「9月30日には馬が菰江区に到着。菰江公民館に馬小屋。緑川左岸堤防沿いには馬の練習道。射手、仲間の練習は毎夜8時から10時まで」「仕事で夜間練習できない人は朝5時からでしたよ」「2週間練習を重ねました」と祭りを支えた関係者の言葉です。流鏝馬神事、馬追神事は「人馬一体」の言葉がぴったりのすばらしい奉納でした。観客の大きな歓声と拍手。「よか祭りだった!」「さわやかな風のようにでした」の観客の言葉がありました。米本道治地区長の「菰江に馬が来たことで、祭りだと区民が盛り上がりました。富合の氏子の皆様と各地区長さんのご協力ありがとうございました。おかげさまで無事奉納が出来ました」と話す笑顔もさわやかでした。



勢子は120人 全員参加で



今年の主役は「佐藤 輝さん」高校1年生



人と馬が心を合わせて疾走



観客全員笑顔の中の馬追です



先頭はいつもラッパ隊。リーダーの指導で3ヶ月間の練習を重ねました。「がんばったね」「よか音だったよ」



今年も新幹線車両所跨線橋を堂々と行進 車窓から見た人はラッキーですね

「子ども達のがんばり」

ポニーの名前は「ひめ」。食事、身だしなみ、運動も子ども達が担当。祭り当日、六殿神社までの道程もぴつたりと側について歩きました。そして境内では観客にりっぱな仲間姿を披露。「馬追奉納」も大成功。すばらしい経験をした子ども達に拍手です。



小学生みんなのアイドル?になったポニーと一緒にの記念撮影です。



元気に参加の勢子「ひろきくん」



祭りが終わるとさみしくなりますね



最年少勢子は「こうちゃん」

合併特例区のとりのくみ

平成24年度第2回富合町合併特例区協議会臨時会

日時:平成24年10月5日 午前10時～
場所:南区役所3階 大会議室

10月5日午前8時40分、熊本市役所5階庁議室にて特例区長、協議会構成員の辞令交付式が行われ、区長、構成員が選任されました。幸山市長からは「合併後4年が経過しました。さらにこれまで以上のご活躍を期待します」の言葉がありました。その後南区役所にて臨時会を開催。

議事1 会長・副会長の選出 会長 田中栄信 副会長 小山一美

議事2 部会員の編成と部会長・副部会長の選出 ◎部会長 ○副部会長
コミュニティ部会 ◎米原靖雄 ○小山一美 田中・改原・村崎・内藤・松永・野口
地域振興部会 ◎松永 隆 ○内藤信博 小山一美 村崎博則
広報部会 ◎野口ミナ子 ○改原明博 田中栄信 米原靖雄

よろしくお願いいたします 富合町合併特例区長 村崎 秀

秋も深まりました。今年は台風の影響もなく、稲の収穫は平年並みの様です。

早いもので、熊本市と合併して4年が経過しました。10月5日に熊本市長より再任の辞令をいただきました。協議会構成員の皆さんとともに、特例区終了後の課題を整理し、その解消に向けて努力してまいります。熊本市との合併にもメリットとデメリットがありますが、合併効果が徐々に現れていると確信しています。今後とも、どうぞご協力をよろしくお願いします。

富合町合併特例区協議会部会活動 今後1年間の目標

■コミュニティ部会 部会長 米原 靖雄

富合校区自治協議会が平成24年5月26日設立されたが、活動の場所の確保が課題になっています。また、平成26年度から、22行政区が円滑に町内自治会制度に移行するのが目標です。

■地域振興部会 部会長 松永 隆

都市計画（集落内開発制度の緩和）に取り組んできました。今後も、平成26年度の見直しに全力で取り組んでいきます。今年7月の豪雨による白川の氾濫、阿蘇地域での水害で、その恐ろしさを再確認しました。富合校区にも、1級河川、雁回山などの危険箇所があります。今後、危険箇所の再確認とともに、災害に対する準備、避難訓練、避難指示、及び異常気象に対する迅速な対応を担当課と協議していきたいと考えています。防災無線は今後の課題です。

協議1 富合町合併特例区終了後の富合町区域の町名の取り扱いの要望書(案)について

協議後、要望書案を承認

○市町村の合併の特例に関する法律第55条第1項の規定に基づき合併特例区の名称として、富合町を残しています。特例区終了後も同様になることを、熊本市長へ要望するもの。

報告1 富合町のまちづくり概要

①合併特例区設置と合併後4年目の実績について

平成20年10月に合併特例区が設置され4年間が経過。その間の活動内容、その効果について、また今後の課題について、協議し確認。

②富合地域関連投資計画(平成19年度～平成24年度)

(単位:百万円)

区分	事業名	事業費 (計画額) H19年～H29年	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
			決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
住宅	公営住宅整備事業	489	0	0	3	13	52	524
道路	幹線道路及び地域内生活道路整備、道路維持補修、交通安全対策等	1,491	14	66	246	336	192	173
新幹線	JR富合駅設置、アクセス道路整備、排水機場設置、排水路整備等	2,634	698	1,195	873	92	0	25
義務教	富合小中学校校舎補強・改築事業、富合小中学校施設整備等	2,459	46	327	40	19	179	24
農林	基盤整備促進事業・土地改良施設維持管理適正化事業、湛水防除事業等	1,287	39	91	103	121	84	113
消防	消防出張所整備事業、消防施設整備事業	310	9	3	0	0	4	34
福祉	老人憩の家改修 雁回敬老園改修事業	187	0	0	54	33	10	52
区画整理	中心市街地土地区画整理事業	300	0	0	0	0	1	6
県事	県事業負担金:道路、河川、農業基盤	107	3	0	3	4	2	10
その他	簡易水道施設整備等	125	8	15	0	0	0	2
上水道事業		1,797	0	0	0	330	568	390
下水道事業		4,306	223	216	368	57	515	348
合計		15,492	1,040	1,913	1,690	1,005	1,607	1,701

③新市基本計画における主な施設等の整備(平成24年度以降)

雁回敬老園 エレベーター設置工事 5千2百万円 平成24年7月～12月

市営住宅廻江団地建替事業 約6億円 平成24年本体建設・集会室工事 平成25年度中に完成予定

消防出張所建設 約2億2千万円 平成24年度基本・実施計画、25年度本体建設工事

平成26年運用開始

今後の課題

- 道路・水路の整備
 - ・毎年各地区から150件以上の道路、水路の整備に関する要望が提出されている。現地調査を行い、優先度的に判断し、着実に進める。
- 上下水道の整備
 - ・簡易水道組合の施設を引き継いでおり、老朽化施設の統廃合や私有地内に布設されている管路の解消が必要である。
 - ・下水道未整備地区については、計画的に整備を行うため、補助財源の確保が必要である。

報告2 富合町文化祭について プログラム内容の報告

報告3 富合町体育祭について 体育祭の運営、競技内容、当日の態勢

報告4 富合乳児健診の平成25年4月からの変更について

富合町乳児健診（3ヶ月児健診、7ヶ月児健診）

現 行・富合校区では、集団健診を実施。

- ・月1回、富合町健康づくり総合センター（雁回館）で実施。

- ・3ヶ月児健診と7ヶ月児健診を同日に実施している。

変更後 平成25年4月1日からは、個別健診に変更。現在の熊本市と同様となる。

- ・熊本市内の委託医療機関で実施。

- ・受診日は、各自、都合の良い日を予約。

※母子手帳交付時に詳細について説明。

「あなたの自転車大丈夫」

ツーロック(二重施錠)キャンペーン

日 時 平成24年10月18日

午後5時～午後7時

場 所 JR富合駅

最近、無施錠の自転車盗難が増加しています。南区役所まちづくり推進課では、熊本南警察署と富合町防犯協会と協力して、「自転車の二重施錠」の呼び掛けを富合駅の周辺駐輪場2か所で実施。通学、通勤利用者の多い時間帯です。多くの方に、二重ロックが習慣になるといいですね。東側の自転車駐輪場は3列。利用者は増加しています。



お疲れ様でした。

「新幹線フェスタ2012 in 熊本」開催

平成24年 10月28日(日) 主催 JR九州

開場時は雨も止みフェスタ日和となり、次々に入場者。新幹線車両所の集計では9,800人。会場には富合地区からの地区名入りの「テント」が並び親しみを感じます。40分待ちには「ミニSLあそぼーい」。キャラクタ「くろちゃん」も子ども達に囲まれうれしそうでした。富合からも2店舗の出店とステージ出演。車体上げ実演は4回実施され、大勢の見学者に囲まれていました。車両・車内見学で富合の子ども発見。「新幹線の椅子はふかふかです。莎崎からお父さんと、お母さんと来ました」と可愛い笑顔でした。



迫力ある光景です



大人だって乗ってみたいSLです



くろちゃんにも負けない人気者



しっかり見学してってネ



トークの会 バナナの叩き売り
最後の1房



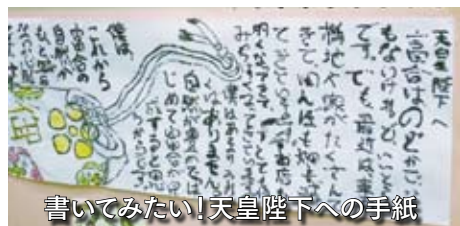
コール富合混声合唱団



さわやか学級童謡クラブ

全校生徒が協力し、企画・準備し実践した発表会はすばらしいものになりました。学年別、クラス別、教科別と多くの発表の中から一部を紹介します。

展示の部



書いてみたい! 天皇陛下への手紙



小学生も楽しんで見てましたよ



30年後 君たち45歳だね!



合唱コンクール 各クラスが練習を重ねての発表
ステージとフロアが心をつなげて



3年生 地球から「地雷」をなくしましょう!
「地雷」って何? 地雷を知ることから始まった取り組みは、地雷廃絶への協力、募金活動につながりました。被害者への気持ちも込めて。

「支え合って生きる」 学び、体験した思いを言葉にまとめて発表。成長する中学1年生です。

学 び

- ・詩画家星野富弘さんの事故そして絵を描き始めたこと、それを支えた家族とまわりの人のこと
- ・バリアフリーとユニバーサルデザインについて
- ・高齢者疑似体験・車椅子体験（地域包括支援センター・地域の施設の指導がありました）

学び・体験しての思い

- ・私は手足の自由を失っても、自分の出来ることを見つけ、努力を重ね、口にくわえた筆で絵を描けるようになった星野さんの心は強いなあと感じました。そして星野さんを見守り、支援したまわりの人々の心はあたたかく、私も応援できる人になりたいと思いました。
- ・私はUD（ユニバーサルデザイン）を学び、UDとは障がい者のためだけでなく、誰もが自由に使える支えになっていることがわかりました。ほんの少しの工夫で、使いやすくデザインされ、すごいと思いました。
- ・UDのように、便利なものがこれからも増えると思います。とてもいいことですが、それ以上に大切なことがあると思います。それは困っている人への「大丈夫?」の声かけや手助けです。
- ・黄色のゴーグルで視野が狭くなり、肘や膝にサポーターを付けると関節が曲がりにくくなりました。軍手をはめると握力が弱くなり、足元におもりを付けていると思うように動けません。高齢者の生活の大変さを感じることが出来ました。これは高齢者の方々の生活であり、私たちにもいずれ訪れることなのです。
- ・今の私に何が出来るか不安です。だから、まず私は一番身近なおじいちゃんやおばあちゃんの支えになり、おじいちゃんが重たそうな荷物を持っている時、おばあちゃんが針仕事などの細かい作業をしている時には、すぐにお手伝いが出来るようにしたいです。
- ・たくさんの方が自分の身近な人の支えになるだけで、一つの支え合いが、大きな支え合いにつながると思います。私たちは身の周りの人にとって、最高の支えになれるように頑張ります。

「ナイストライで学んだこと」 2年生

富合中学校では毎年職場体験を行っています。

9月12日～14日に富合町、熊本市、宇土市の職場で学んだのは「感謝」「あいさつ」「笑顔」「掃除」「忍耐力」。地域のみなさんの協力で出来る貴重な体験です。その体験を劇で発表。



富合の若い力

上塚 幸祐さん(碓江)

横浜から富合に帰って就農6年目。メロン、胡瓜、米を栽培。「自立できる農業を目指し、今頑張っている途中です。消費者に認めてもらえる農産物、美味しくて、安心安全の農産物を生産していきたいです」と農業者です。20年近く過ごした横浜のこと、共に働いた友人のことを話す顔は笑顔です。都会の暮らしをいい経験としていることが伝わりました。



碓江の静かな秋の日でした

村上 将之さん(碓江)

1年前、父親の後を継ごうと本格的に就農。米とメロンを一緒に栽培。「11月中旬にはメロンの出荷が始まります。忙しい毎日になります。2年前結婚しましたが、決まった休みが取れず家庭サービスがなかなか出来ません」と気遣うやさしいお父さんです。安定した農業収入をと話してくれました。「美味しいメロン」が出来ること間違いありません。



出来たてホヤホヤの新米の前で

第51回熊本県童話発表大会

平成24年10月20日(土)

於 アスパル富合ホール

「すべての子どもに読書のよろこびを!」をテーマに熊本県立図書館が開催。熊本県下11ブロックの地方大会から推薦された、児童23名によるすばらしい語りが発表されました。富合小学校からは北岡実乃理さん(5年生)が熊本市の代表として「ぼんさらや」を心のこもった言葉で発表。大きな感動を会場いっぱいに届けました。終了後は安堵と満足でしょうか、すばらしい笑顔でした。次のコメントいただきました。

「今日はたくさんの方の応援があり『がんばってね』と声をかけていただきました。ステージに上がると足がガクガクし、とてもきんちょうしました。でも、この会場にいる方、すべての人にこの「ぼんさらや」というお話にこめた思いをとどけたかったのがんばれました。今まで一生けん命練習してきて本当によかったと思いました」



いいお話
ありがとう



代表の小学生。みんなよかったヨ

おさそい①

熊本市文化事業協会自主事業 主催 熊本市・熊本市文化事業協会

ミュージカル

「星とあるいた白象」

長崎から江戸まで74日かけて象が歩いたという史実をもとにした作品です。1728年、八代将軍徳川吉宗の命令で広南(現ベトナム)から来た「象」をどうやって? ゆっくり楽しんでください。

日時 2012年12月24日(月・祝日) **開場** 13:30 **開演** 14:00

場所 アスパル富合ホール

出演 劇団ショーマンシップ 福岡市を拠点に舞台・TV・ラジオ・学校の芸術鑑賞公演等幅広く活動。

入場無料 ただし事前の申込みが必要です。

申込方法 ・アスパル富合で直接申込 窓口で入場整理券をお渡しします。

・往復はがきで申込 往復はがきに「郵便番号、住所、氏名、参加人数(3人まで)、電話番号」を書いて下記まで。12月4日(火) 消印有効

応募多数の場合は抽選です

〒860-0805 熊本市中央区桜町1-3 市民会館崇城大学ホール「星とあるいた白象」係へ

おさそい②

人権講演会

「地域でともに生きるため 一人ひとりの人権の尊厳」

人権と障がい福祉について、わかりやすい講演です。多くの方の参加をお待ちします。

日時 2012年12月15日(土) 午前10時~正午

場所 富合公民館 研修室 1・2

講師 和田 要氏(熊本学園大学教授)

申込 当日直接公民館へ(無料)

問い合わせ 富合公民館 TEL 357-4580

11・12月行事予定

11月22日 資源ごみ拠点回収

23日 健康・産業祭

28日 人権相談

12月10日 行政相談

11日 心配ごと相談

12日 人権相談

13日 資源ごみ拠点回収

富合駅伝大会 12月2日(日)
スタート・ゴール 富合小学校

あとがき
「童話発表会」で子ども達が発表する童話を聞きながら童話の持つ力を思い出し、話も出ました。取材で多くの人と話も出来ます。いろいろな感謝です。広報部会の目標は「富合のいいところをもっと紹介したい」です。どうぞよろしく願っています。
広報部会 野口